

2018 年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
05010109

1. 計画名称

茅野市空家等対策計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	遅れている	説明	平成25年度実施の空き家調査から時間が経過したため、新たな空き家についての調査を行ったところ、先の調査による空き家を含め950戸が確認できました。適切な管理がされていない空き家について状況の改善を促すと共に特定空家等に認定する手続き体制、空き家についての相談体制の整備が必要です。
今後の重点化施策番号	1	説明	空き家対策は国を挙げての重要課題でもある。空家法に基づく特定空家認定による老朽空家対策や今後も一層の空き家の増加が予想されることから、発生抑制のための啓発が急務であるが、対策が遅れているため重点的な取組が必要。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	空家等対策の推進	遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策計画策定後初の協議会開催 →今後の取組の方向性を確認した。 ・特定空家認定候補抽出 →代執行を視野に入れた取り組みに着手できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空家対策協議会を実効性のある協議体にする。 ・特定空家認定～代執行までの手続きの実施。 ・空き家相談体制の整備 ・市内空き家の状況・予測見える化 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の現状・予想と対応状況のDB整備(マッピング) ・Dランク空き家の特定空家認定 ・空家対策協議会に部会制を導入 ・民間専門団体と協働した空き家相談体制の構築 ・空き家発生抑制啓発対策の実施
2					
3					
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	茅野市空家等対策協議会	①市長がいる席ではなかなか発言しづらい。 ②空家対策は上から目線ではなく、近隣地域も巻き込んだ相談から始めることが重要。	①部会制を導入し、具体的な協議はそこで行う体制にした。 ②これまでの所有者・相続人宛の通知文面見直し、話をする場合は相談を受けるスタンスに変更した。
開催回数	2		
参加延べ人数	20		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」